

技術開発部報告書情報シート

記入年月日：2010年5月10日

情報No	K-10-1	情報区分	プラ処理協研究報告	ファイリング場所	プラ処理協書棚
------	--------	------	-----------	----------	---------

題名 報告書名	平成21年度使用済プラスチックのリサイクルに関する技術開発				
報告年月	2010年3月	ページ数	74	著者・出版元	プラ処理協

【キーワード】

処理方式	流動層式乾式比重選別機	要素技術	比重分離、造粒、配合
樹脂類別	ASR	化学物質名	
形状別		用途別	自動車部品
法規制	自動車リサイクル法	国別	日本

調査研究内容	<p>自動車リサイクル法でリサイクルが義務づけられている自動車シュレッターダスト（ASR）は昨年度実績で約6割が埋立に替わってエネルギー回収としてサーマルリサイクルされている。一方ASR中のプラスチックが再生利用された例はない。ASR中には6割を占める可燃分の4-5割が汎用樹脂のPP（ポリプロピレン）であり、全体の2割を占める。このPPを選別分離し自動車部品として再生利用する技術を開発することで、資源の節約・温暖化防止に貢献し、もって機械振興に寄与する。</p>
調査研究結果	<p>自動車シュレッターダスト再資源化工程から採取した試料を前処理として風力選別・手選別によるゴム類の除去を行った。前処理後の試料を用いて流動層乾式比重選別を行い、PP純度89%（PO純度96%）の浮上物を回収率41%で得た。この回収物をバージンPP原料に20%混合した再生材で自動車部品の成形を行ったところ、成形性・品質共に問題なく利用の可能性が確認された。回収材ペレット化時にスクリーンメッシュの目詰まり頻度が増え生産性向上の課題が残った。</p>
備考	<p>この事業は、（財）JKAの補助事業で実施しました。 （財）JKA補助事業広報資料（PDF）</p>